

る大規模珪長質火山活動の開始を告げるものである。

4. おわりに

この報文では、新第三紀火山岩から当時の火山活動様式を復元した研究例を紹介した。このような研究は、地質学的な記載の空白を埋めるという作業にとどまらず、火山認定の時間枠を 10^7 年オーダーにまで引き上げることを狙っている。その結果得られる超長期の火山活動の実体は、我々の火山や地質に関する認識に新たな理解をもたらしてくれるであ

らう。

参考文献

- Kano K, Yamamoto T, Takeuchi K, (1993): A Miocene island-arc seamount: the Takasibiyama Formation, Shimane Peninsula, SW Japan. *J. Volcanol. Geother. Res.*, vol. 59, p. 101-119.
 Yamamoto T, (1993): Eruptive history of the late Miocene to Recent caldera volcanoes and related volcanoclastic sedimentation in an intra-arc basin, Aizu volcanic field, Northeast Japan. Ph. D. thesis. Kobe University, 87p.

YAMAMOTO Takahiro (1994): Recent works on volcanic sedimentary facies in the Japanese Islands.

〈受付：1994年6月10日〉

〰〰〰 地学と切手 〰〰〰

南米ギニア高地の

ロライマ山とアンヘル滝

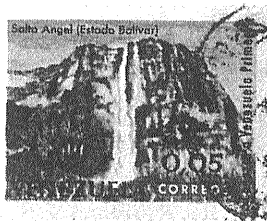
P. Q.

南米北部のガイアナ(旧英領ギニア, 1966年独立)・ベネズエラ・ブラジル3国の境界, 河で言えばアマゾン川とオリノコ川の分水嶺にあたるギアナ高地は, 垂直に切り立ったテーブル状の台地, 頂の奇妙な形をした岩, 酸性の黒い川, テーブルの端から落ちる高い滝, 下はジャングルにもかわらず, 山はいつも霧や雨雲に包まれていると言う秘境である。

周辺の低地は熱帯であるが, テーブルマウンテンの上は気温が最低 $13\sim 15^{\circ}\text{C}$, 最高 28°C , 1~2月には最低 5°C に下がることもあると言う。

それはギアナ盾状地と呼ばれる地域で, 岩石は先カンブリア時代の砂岩で, ほぼ水平に横たわり, 周辺は侵食を受けて数多の孤立した台地となった。その高度は平均 $1,000\text{ m}$ 以上, 最高 $3,000\text{ m}$ に達し, 切り立った絶壁は $1,000\text{ m}$ に及ぶ。その断崖は下から登ることは不可能で, 台地の上にはヘリコプターを使用する他はない。しかし天候が変わり易くて上昇気流が強いので, 腕の立つ勇敢なパイロットでなければ山頂に下り立つことが出来ない。事故が多いため有名である。

この山地の真実が知られたのは最近のことである。山上の動植物は周囲から孤立していたため原始



的なものも多く, 進化の謎を解くかぎが残されていると言う。

ギアナ高地を世界中に知らせたのは, シャーロック・ホームズを書いた小説家コナン・ドイルである。彼は山上の珍しい動植物と進化論に着想を得て空想小説「失われた世界」を書いた。その舞台はギアナ高地の山で, この切手の主題であるロライマ山だった。

アンヘル滝はギアナ高地からベネズエラ側に落ちる落差 979 m , ジャングルに向かって落ちる世界最長の滝である。滝の存在は古くからインディオに知られていたが, 1935年ジェームス・エンジェルというパイロットが欧米人で初めてこの滝を発見し, アンヘルと名付けられた。エンジェルのセスナ機はこの台地上に不時着し, 絶壁に囲まれたこの山から下りれる場所をさがして, 何日もの間台地上をさまよったと言う。

ロライマ山の切手は1898年の英領ギニア時代からくり返し10種近く発行され, 1966年の独立後も1967年まで加刷されて使用された。ここに示したのは1950年に発行されたものである。アンヘル滝はベネズエラから1964年に発行されたものである。